

7年度 特別会計予算

議案
第24号 ▶ 可決

国民健康保険

問 「高額療養費支給事業」は、6年度と比較すると4000万円程度の増となっているが、受診者が増加しているということか。

答 国民健康保険の被保険者は減少傾向にあるが、一人当たり医療費は増加傾向にある。高額療養費についても同様の傾向である。

問 6年度の高額療養費の支給実績は。

答 11月診療分の高額療養費の支給額は、約3600万円である。

問 高額療養費が支給されているかたの年齢層は。

答 被保険者の構成割合は、65歳以上75歳未満の「前期高齢者」が50%強である。これに呼応してか、高額療養費の支給も多くの部分を「前期高齢者」が占めている。

問 特定健診の取組は、年々工夫しているものと理解している。7年度では、どのような取組を考えているのか。

答 特定健診を受診していないかたに対し、受診の案内を7種類に分けて行っている。この案内をもっと工夫していく。また、新たに加入したかたは特定健診の受診率が低い傾向にあるので、加入手続きの際に案内していく。

全体的に40歳代の受診率が低い傾向にあるため、この層の受診率向上を図っていきたい。

問 7種類に分けて案内をしていくとのことだが、どのように分けているのか。

答 過去の受診履歴に基づき、元年度から「A1」を活用して種類を分けている。



問 「特定健康診査等事業」の検証等を行っているのか。

答 毎年工夫をしながら実施しているが、受診率は伸び悩んでいる状況である。ショートメッセージによる受診勧奨等の取組をしているが、30%程度の受診率である。受診率の県内市町村での順位は、中ほどである。他市町村の受診勧奨の取組も同じような内容である。

議案
第26号 ▶ 可決

介護保険

問 任意事業とは、どのような事業を実施しているのか。

答 紙おむつ等給付事業、緊急時通報システム事業、配食サービス事業等を実施している。

問 配食サービス事業の実績と7年度の見込みについて伺う。

答 6年度当初予算では月860食と見込んでいたが、7年1月の実績が333食であった。7年度については月500食を見込んでいる。



問 介護保険料の滞納状況と滞納者数は。

答 5年度普通徴収分の収入未済額は321万5600円で、5年度末で227人である。

問 滞納に対してはどのように取り組んでいるのか。

答 各期別の督促状、催告書を送付しても納付がない滞納者に対しては、さらに年3回催告書を送付している。納付の見込みのあるかたに重点を置き、直接滞納者の自宅を訪問する取組も行っている。

《7年度 特別会計予算》

議案	特別会計	歳入・歳出（前年度比）	主な歳出
第24号	国民健康保険	46億 324万6千円（1.6%増）	保険給付費、国民健康保険事業費納付金
第25号	後期高齢者医療	9億6981万5千円（4.1%増）	後期高齢者医療広域連合納付金
第26号	介護保険	41億9868万7千円（2.0%増）	保険給付費、地域支援事業費
第27号	白岡駅東部中央土地区画整理事業	3億6626万6千円（24.1%増）	事業費（街路等築造、物件等補償など）

（編集・レイアウト担当 中山）